

松山市の中心部では不法駐輪が問題になっています。そこで、内閣府のデータ(2005年10月1日現在)を使って駐輪場整備の状況、およびその特徴についてご提示します。なお、この調査の対象は原則として市部の駅前駐輪場です。

愛媛県市部の駅前駐輪場収容台数は1万3750台です。人口1000人当たり(人口は原則市部の人口)の収容台数を試算すると10.4台になります。全国平均は36.2台ですから大差がついています。経済規模も影響します(東京都、大阪府、埼玉県、

愛媛と全国の駐輪場の効率比較

(単位)	全国平均	愛媛県	人口100万人 台の県 (加重平均)
収容台数/人口(1000人)	(台) 36.2	10.4	16.9
駐輪場数/人口(1000人)	(所) 91.6	75.7	64.9
収容台数/1カ所	(台) 395.2	137.5	261.0
延床面積/1カ所	(㎡) 493.2	184.0	358.8
延床面積/敷地面積	(-) 0.99	0.76	0.93
収容台数/延床面積	(台) 0.80	0.75	0.73

人口は原則市部のみ

## 効率的に収容増を

千葉県では60台超)ので、人口100万人台の県の加重平均を取ってみましょう。その平均は16.9台です。やはり愛媛県の駐輪場収容数は少ないと言えます。

さらに比較すれば、人口100万人当たりの設置個所は加重平均を上回る一方、1カ所当たりの収容台数は大幅に少ないことから、小ぶりの駐輪場が数多くあることが愛媛県の特徴と言えます。加えて敷地面積当たりの延床面積も約2割低い水準になっています。これが収容台数の増加を実現するためのヒントになりませんか。

不法駐輪する理由はさまざまですが、駐輪場の絶対数不足もその一因です。敷地の有効利用による収容台数の増加を目指せるならば、それは官民挙げて取り組むべき課題ですね。

(日本政策投資銀行松山事務所長・門松 功)

ピックアップえひめ

不法駐輪防くには...

Data